

内藤 礼 すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している

空間を満たす光、空気の揺らぎ、周囲の音——造形を取り巻く繊細な要素を無垢なる作品の場へと紡ぎだす、現代日本を代表するアーティストのひとり、内藤礼。自然に囲まれ、室内と室外の交錯する鎌倉館ならではの作品空間が展開される個展です。

会期：2009年11月14日（土）～2010年1月24日（日） 休館日：月曜日（11/23、1/11は開館）、11/24、12/24、12/28～1/4、1/12

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉

内藤礼氏によるアーティストトーク：2010年1月11日（月・祝） 午後2時

担当学芸員によるギャラリートーク：2009年11月23日（月・祝）、12月6日（日）、2010年1月17日（日） 午後2時
申込不要、無料（ただし「内藤礼」展の観覧券が必要です）

内藤礼（ないとう れい）：1961年広島に生まれる。1985年武蔵野美術大学卒業。主な個展に《地上にひとつの場所を》（1997/第47回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館）。パーマネント作品として、《このことを》（2001/直島・家プロジェクト・きんざ べネッセアートサイト直島）がある。

長澤英俊展 オーロラの向かう所

大学卒業後に大陸を横断してヨーロッパに行き、以後ミラノを拠点に大理石や木、金属などを素材とする神話的テーマをもつ彫刻によって、身体や行為と空間との関連性を重視した作品世界を探究してきた長澤英俊 [1940-]。

1993年以来となる国内待望の個展で、近作を中心にその造形の軌跡をたどります。

会期：2010年1月9日（土）～3月22日（月） 休館日：月曜日（1/11、3/22は開館）、1/12、2/12

会場：神奈川県立近代美術館 葉山

長澤英俊氏によるアーティストトーク：1月10日（日） 午後2時

担当学芸員によるギャラリートーク：1月24日（日）、2月21日（日）、3月14日（日） 午後2時
申込不要、無料（ただし「長澤英俊展」の観覧券が必要です）

長澤英俊（ながさわ ひでとし）：1940年旧満州に生まれる。多摩美術大学卒業。在学中から旅を繰り返していたが、1966年に日本から東南アジア、中近東を1年かけて自転車で横断し、到着地であるミラノにそのまま住み着くと、同時代のイタリアの芸術家たちと交流しながら本格的な活動を開始する。1970年代には彫刻の原点を問い直すような制作に向かい、その独創的な手法と壮大な構想による作品は、ヨーロッパでも高く評価され、ヴェネツィア・ビエンナーレやドクメンタなどの国際展でも度々紹介される。



長澤英俊《舟》1980-81年 大理石、土、樹木

松谷武判展 一流動

大阪に生まれ、現在パリで活動する日本を代表する現代作家、松谷武判 [1937-] の個展。具体美術展デビュー以来、鉛筆をもちいて、実験的な表現を追求してきたアーティストの世界を、近作を中心に紹介します。

会期：2010年2月6日（土）～3月28日（日） 休館日：月曜日（3/22は開館）、2/12、3/23

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉

松谷武判氏によるパフォーマンス：2月6日（土） 午後2時30分

アーティストトーク：2月7日（日） 午後2時

担当学芸員によるギャラリートーク：3月6日（土）、3月20日（土） 午後2時
申込不要、無料（ただし「松谷武判展」の観覧券が必要です）

松谷武判（まつたに たけさだ）：1937年大阪に生まれる。大阪市立工芸高等学校日本画科に入学するが、2年後に病気のため中退する。1960年に発売された新製品のビニール系接着剤に興味を持ち、絵のマチエールに使用し始める。この年の第9回具体美術展に初出品、その後1972年の具体美術協会解散まで全展に出品。1966年にフランス政府留学生選抜第1回毎日美術コンクール（京都市美術館）でグランプリ受賞。以降、現在までパリを拠点に活動を続ける。



松谷武判《流れ 小西邸 大阪》2001年